

総合的な学習の時間 「手話体験教室」

開成町立開成南小学校学校



単元（題材）目標

- 福祉体験等を通して相手の立場を理解し、接することができる。
- 地域には様々な立場の人が生活しており、互いに支え合っていることを知る。

（1）実施時期

令和2年10月29日（木）

（2）対象（学年等・人数）

第4年生全員 126名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

足柄上郡ろうあ福祉協会、
手話通訳者、手話サークルかたつむり



（4）実施内容

- ・聴覚障がい者の生活の様子を知る。（音の代わりに工夫していること）
- ・聴覚障がい者のコミュニケーション方法（身振り・口話・空書・筆談・手話）
- ・手話による簡単な会話（あいさつ・自分の名前・感情表現など）

（5）成果

○手話に興味を持ち、手話で自分の名前や簡単なあいさつ、気持ちを表現することができた。

○聴覚障がい者の生活を知ることにより、音の代わりに伝える方法の様々な工夫に気付くことができた。

＜児童感想 一部抜粋＞

○振動する目覚まし時計や扇風機のタイマー等、聴覚障がい者の方の生活には様々な工夫があると分かった。

○手話だけではなく、表情や口話をつけると分かりやすいと思った。

○手話を知らなくても会話はできると思っていたが、一つひとつに意味があることを知った。手話に興味が出て、もっと勉強したいと思った。